



和坂小学校3年生の

桜守パネル展

- わさかっこ桜守プロジェクト -

和坂っ子

SDGs



2025年

3月20日(木)~26日(水)

9:00~16:30

*初日は 11:00 から

*最終日は 16:00 まで



桜守(さくらもり)とは…

桜の代表格「ソメイヨシノ」。江戸時代末期に誕生した品種で、第2次世界大戦後、復興シンボルとして東京オリンピックを機に全国に植樹されました。しかし、近年、樹勢が著しく衰え始め、ソメイヨシノは全国的な危機を迎えています。「さくらの名所100選」に選ばれている明石公園や和坂小学校のソメイヨシノもまた同様です。現在、樹木医さんを中心に樹勢回復のため、3年生児童やまちづくり協議会のサポート隊による活動が展開されています。

兵庫県立 明石公園

パークギャラリー

(サービスセンター内)

これまでに メディアで 紹介された 桜守活動

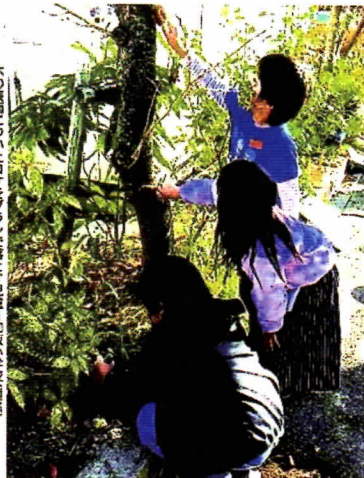
▼ 神戸新聞(2024/02/05)

和坂小学校（明石市和坂2）の3年生59人が、明石公園や校内の桜の世話を担う「桜守プロジェクト」に挑戦した。樹木医から樹勢を回復させる方法を学び、身近にある木々

を通して自然保護について考えた。明石公園パークギャラリーでは、活動を記録したパネル展を開催している。

（川崎恵莉子）

3年生59人 校内や明石公園で挑戦



木の葉を落とす作業の様子（和坂小学校提供）

活動記録パネル展も 公園内ギャラリー

年間を通じて行われる環境保護活動の一環として、今年も3年生59人が、明石公園や校内の桜の世話を担う「桜守プロジェクト」に挑戦した。樹木医から樹勢を回復させる方法を学び、身近にある木々を通して自然保護について考えた。明石公園パークギャラリーでは、活動を記録したパネル展を開催している。



桜守の活動をまとめたパネル展＝明石公園パークギャラリー

桜の世話で自然保護学ぶ

木に寄り添って育つ子どもたち（和坂小学校提供）



▲ 神戸新聞(2022/03/25)

和坂小児童 桜保全に挑戦

3年生40人がパネル展 観察や腐葉土づくり

県立明石公園のパークギャラリーで、和坂小学校の児童が製作した桜の観察や腐葉土づくりの記録が、今年初めて公開された。29日まで。



和坂小学校の児童がまとめた桜のパネル展＝明石公園

同プロジェクトを主導した河合健次教諭（54）は「子どもたちは楽しんで活動していた。桜や虫、人などの共生について考えてもらうきっかけになれば」と話した。（有富晴貴）

▲ 神戸新聞(2023/03/29)

NHK放送
「リブラブひょうご」
(2024/04/11)



明石市の絵本作家たなかしんさんが2日、和坂小学校（同市和坂2）で壁に絵を描く様子を見せる「公開アート」の特別授業に臨んだ。子どもたちは校舎の壁が彩られていく様子を見守りながら、多くの質問を投げかけた。

和坂小で絵本作家たなかしんさん

校舎に壁画 動物描く姿公開
を招いている。今年と同校の児童が桜を害虫などから守る活動「桜守」をテーマに制作を依頼した。同校2階ホール壁の一面に、白い板を敷き詰めてキャンパス代わりとした。たなかさんは始業から制作を始め、その様子を全学年の児童が交代で見学。校の木にリスやコアラ、ゾウなどが集まっている絵を最終時間ごろ完成させた。たなかさんは「子どもたちのリクエストに応じて動物を増やしていった。また「なぜ絵本作家になったのですか」と聞かれると「絵を多くの人に見てもらえるのうれしくて」と答えた。3年生の浜田波瑠さん（9）は「木の幹が茶色に見えるけど、よく見ると赤と緑が混じったカラフルな模様になっていてすごい」と話した。（有富晴貴）

児童からリクエストも